

自然や文化・芸術に関わる体験活動

たぶせ たぶせにし
田布施町立田布施西小学校

学校の概要

① 学校規模

- 学級数：8学級（内特別支援2学級）
- 児童数：181人
- 教職員数：16人
- 活動の対象学年：全学年（181人）

② 体験活動の観点などからみた学校環境

- 本町は県東部に位置し、人口約1万6千人で、田園風景が広がる農村地帯である。
- 周南市や柳井市の近郊地域として発展し、人やものの交流が盛んである。
- 豊かな自然と古代以降の長い歴史、民話や特産、地域を愛した先人など優れた文化が融合した地域である。
- 古代から米作りが盛んで、海上交通の要所でもあった。また、「熊毛王」の古墳も数多く点在する。
- 現在、地域交流館を主とする物産店が各地にでき、地産地消をはじめ、地域素材を活用した様々な活動が展開されている。
- 民話の紙芝居作りやハゼの実ロウ復活など、田布施文化を継承・創造していかうとする住民の地域活性化の気運やその活動が高まっている。

③ 連絡先

- 〒742-1511
山口県熊毛郡田布施町下田布施 2156-1
- 電話：0820-52-2051
- FAX：0820-52-2126
- 電子メール：tabusenishi.e.school@town.tabuse.yamaguchi.jp

体験活動の概要

① 活動のねらい

- 町の自然や文化・芸術に関する体験活動を通して、豊かな心とふるさと愛に満ちた、命を大切にする児童の育成を図る。
- 身近な地域とふれあい、自分なりのふるさと観を構築し、進んで田布施の良さを発見する地域創造の態度を育てる。
- 地域に積極的に関わり、進んで活動しようとする態度を養い、豊かに生きていく知恵を発見し、活用する力を身に付ける。

② 活動内容と教育課程上の位置付け

○ 自然に関わる体験活動

- ・「夢広がる里山再現 in 学校林」
(理科4時間、図工4時間、総合的な学習の時間10時間、特別活動5時間)
- ・「土の臭い、風のかおりを楽しもう！」
(国語1時間、理科4時間、家庭5時間、総合的な学習の時間6時間、特別活動6時間)

○ 文化や芸術に関わる体験活動

- ・「古代田布施文化を夢見よう！」
(社会4時間、図工6時間、総合的な学習の時間30時間)
- ・「田布施文化を味わおう！」
(国語4時間、社会2時間、総合的な学習の時間4時間、特別活動2時間)
- ・「新しい田布施文化を創ろう！」
(国語4時間、音楽2時間、図工2時間、総合的な学習の時間8時間、道徳2時間)

1 活動に関する学校の全体計画

(1) 活動のねらい

本町は、豊かな自然と古代以降の長い歴史や文化が融合した地域である。そこに有する学習素材を有効に活用し、豊かな心とふるさと愛に満ちた命を大切にする児童の育成を目指してお

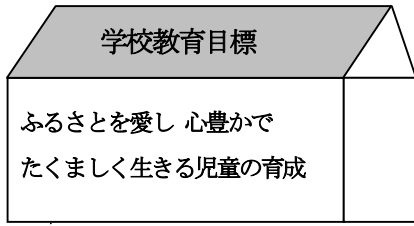
り、体験活動をととして、次のような児童を育てたいと考えた。

- ・ 温かい人間性のある子「ふるさとの温もり もてなしの心」
- ・ 幅広い社会性のある子「魅力を発見！ 自主性の発揮！」
- ・ 夢広がる創造性のある子「夢が持てる 自分を探す 地域を創る」
- ・ 個が生きる表現力のある子「瞳かがやき 声がひびく 五感の醸成」
- ・ 伸びゆく感受性のある子「感性が支えて育つ あふれる知性と学力」

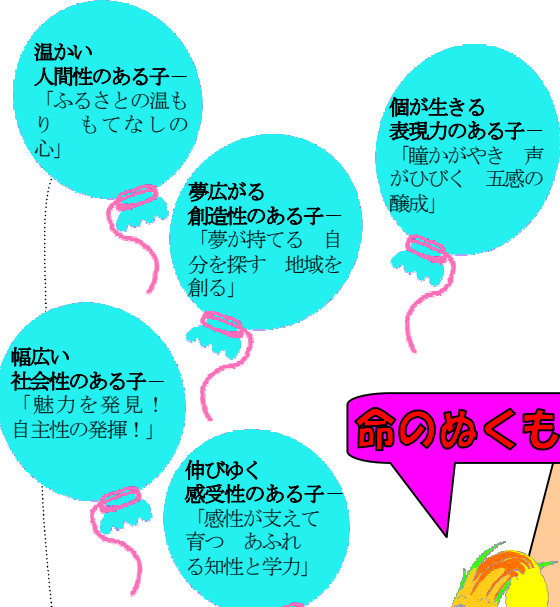
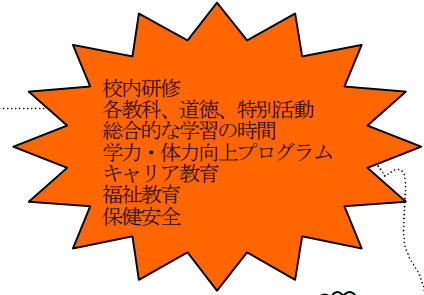
(2) 全体の指導計画

活動の名称		実施学年	内 容	教育課程上の位置づけ	期間(単位時間数、日数等)
自然に関わる体験活動	夢広がる 三学校林 単山再現	遊び場作り	6年 秘密基地、ふれあい遊具	図工、総合的な学習の時間、特別活動	通年 (17時間、10日)
		見晴らし場作り	6年 野鳥観察、展望場、双眼鏡設置	理科、総合的な学習の時間	10月、2月 (2時間、2日)
		ピオトープ	全校 ミニ田んぼ、小川	総合的な学習の時間	4月、5月 (2時間、2日)
		ネイチャーゲーム	6年 樹木調べ、樹木の名札付け	理科	5月(2時間、1日)
	土の臭い、風のかおりを楽しもう！	どろんこ祭り	5, 6年 米俵うばい、江良碧松カルタとり、どろんこリレー、米俵ドッジボール	国語、総合的な学習の時間	5月(2時間、1日)
		田んぼの生き物調べ	4年 生き物の観察、生態調べ	理科	7月(2時間、1日)
		乾田遊び	5, 6年 稲わら投げ、なる足リレー、なる足バンプー、稲わらダイブ	総合的な学習の時間	10月(2時間、1日)
		川遊び	5, 6年 川の生き物調べ	特別活動	7月(1時間、1日)
		星空観察会	全校 四季の惑星や星座を観察	理科	8月、12月 (2時間、2日)
		野山の恵みを楽しもう	全校 フキ、タケノコ、野いちご、栗の収穫と試食	家庭、総合的な学習の時間	通年 (3時間、5日)
		ふれあい集会	全校 ウォークラリー	特別活動	4月(2時間、1日)
		なかよし班遊び	全校 陣取り、こおりおに、ケイドロ、アスレチック	特別活動	通年 (0.5時間、8日)
	環境奉仕	6年 地域のごみ拾い	家庭科、総合的な学習の時間	8月、2月 (4時間、2日)	
	文化や芸術に関わる体験活動	古代田布施文化を 夢見よう！	史跡こふれる	3, 6年 町探検、古墳見学、土器作り	社会、総合的な学習の時間
古代米の栽培・収穫			5, 6年 田植え、稲刈り、脱穀、餅つき、ポンポラ飯、しめ縄	総合的な学習の時間	5月～12月 (20時間、5日)
古代の道を再現			6年 学校林で道造り、田布施文化再現(民話、俳句、ハゼの実ロウ、古代人かかし)	図工、総合的な学習の時間	5月～2月 (14時間、10日)
田布施文化を 味わおう！		昔を体験	全校 そば打ち、どんと焼き、昔の遊び	総合的な学習の時間、特別活動	10月～1月 (4時間、2日)
		江良碧松に近づこう	6年 自由律俳句	国語	6月～10月 (4時間、4日)
		ハゼの実ロウソク作り	6年 実の収穫、ロウ絞り、絵付け	社会、総合的な学習の時間	10月(4時間、1日)
新しい田布施文化を 創ろう！		休耕田の再利用	6年 セイタカアワダチソウでカブト虫飼育	総合的な学習の時間	通年(2時間、2日)
		竹楽器作り	3, 4, 6年 竹楽器の製作、音楽発表	音楽、図工、総合的な学習の時間	9月、10月 (4時間、6日)
		読み聞かせ	全校 民話を読む・聞く、朝読書、読書ラリー	国語、道徳、特別活動	通年(6時間、20日)
		花いっぱい運動	全校 一人一鉢	特別活動	通年(4時間、20日)
	西小文化祭	全校 田布施文化を学校林に再現し体験コーナーを設け、地域に公開	総合的な学習の時間	10月(4時間、1日)	

児童生徒の輝く心育成事業 全体構想図



ふるさと田布施
(自然や文化・
芸術にふれて!)



命のめぐもり

出かけよう! 学校林へ

<キーワード>

- 「活動や体験」
- 「地域(ふるさと)との連携」
- 「交流(人、ふれあい)」
- 「文化の創造」

<自然に関わる体験活動>

- ① 「夢広がる里山再現 in 学校林!」
・ 学校林に夢の広場を建設
- ② 「土の臭い、風のかおりを楽しもう!」
・ 自然体験
・ 自然観察
・ 栽培活動
・ ふれあい集会、班遊び

ふれあおう! 文化を

汗をかこう! ふれあい田で

<文化や芸術に関わる体験活動他>

- ① 「古代田布施文化を夢見よう!」
・ 史跡にふれる
・ 古代米の栽培
・ 古代の道を再現
- ② 「田布施文化を味わおう!」
・ そば打ち体験、どんど焼き他
・ 地元出身俳人「江良碧松」探検
・ ハゼの実ロウソク作り体験
- ③ 「新しい田布施文化を創ろう!」
・ 休耕田の再利用開発
・ 竹を活用した道具や楽器の開発と発表
・ 田布施の民話や文学を発信
・ 読書活動
・ 花いっぱい運動
・ 西小文化祭

地域の宝(ひとものこと)

<体験によって身に付けさせたい活用する力>

- ◎ 命を大切に作る心
(畏敬の念、命の尊厳、自然・文化の恵みを感じる心の醸成)
- ◎ 確かな学力
(基幹学力の定着—
国語～話す、聞く、書く
社会～調べる、知る
算数～数量的に考える
理科～観察、実験する)
- ◎ 将来に生きる力
(夢や希望に向かって、はたらく
力や感性を養う活動を展開)



2 活動の実際

(1) 活動の展開

①自然に関わる体験活動の取組

○ 「夢広がる里山再現 in 学校林」

- ・ 秘密基地、ふれあい遊具（落ち葉の滑り台、稲わらダイビング場、ターザンロープ、竹ブランコ、トンネル）、



<稲わらダイビング>



<竹ブランコ>



<樹木調べ>

木登り体験場、野鳥観察双眼鏡施設、校区展望場や校区紹介マップ、ビオトープ（ミニ田んぼ、小川）、生き物コーナー（羊）、樹木調べや名札付け（ネイチャーゲーム）

○ 「土の臭い、風のかおりを楽しもう！」

- ・ 自然体験、観察～星空、川遊び、～田んぼの生き物、乾田遊び、泥んこ祭り
- ・ 栽培活動～野山の果物収穫・試食



<どろんこ祭り>



<乾田遊び>

（フキ、タケノコ、野いちご、栗）

- ・ ウォークラリーふれあい集会、なかよし（縦割り）班遊び、環境奉仕

② 文化や芸術に関わる体験活動の取組

○ 「古代田布施文化を夢見よう！～農耕・生活文化」

- ・ 史跡にふれる～町探検、古墳見学、土器づくり
- ・ 古代米の栽培～田植え（文字アート）、稲刈り、脱穀、餅つき、ポンポラ飯、しめ縄飾り



<古代米アート『よい人』>



<稲刈り>



<古代米ポンポラ飯作り>



<餅つき>

- ・ 古代の道を再現～学校林に道を造り、田布施文化（民話・俳句・ハゼの実ロウ・古代人かかし）の世界を表現

○ 「田布施文化を味わおう！～農耕・衣食・環境文化」

- ・ そば打ち体験、どんど焼き、昔の遊び
- ・ 地元出身俳人「江良碧松」自由律俳句の学習
- ・ ハゼの実ロウソク作り体験～実の収穫、ロウ絞り、絵付け

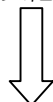


<ハゼの実ロウ絞り>

○ 「新しい田布施文化を創ろう！～芸能・生活文化」

- ・ 休耕田の再利用開～セイタカアワダチソウを利用したカブト虫飼育
- ・ 竹を活用した道具や楽器の開発と音楽発表～竹楽器の製作、町の音楽会で披露
- ・ 読み聞かせ（民話）の開催、民話の世界を学校林に再現し地域に公開
- ・ 花いっぱい運動～気候や季節にあった花の栽培、地域住民へ配布
- ・ 西小文化祭～町の自然、文化や芸術を再現、地域に公開

基幹学力の向上を！



<文化祭風景>



① 体験活動をとおして、初めて知ったことや学んだことを振り返る。



体験活動からの連想
(マインドマップ)
→意見の交流



<かべ新聞作り>



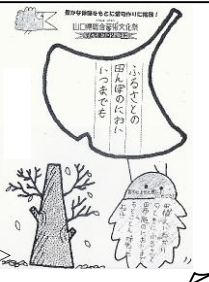
<できあがったかべ新聞>

<体験から学んだことを書く>

② 体験と田布施町の将来像や自分の今後の生き方についてかべ新聞にまとめる。

体験して、感じたことや
思ったことを俳句や日記に
書き記す。

継続することで、書く力
を養い、感受性や表現力の
向上につながった。<自作俳句>



体験から生じた疑問や「はてな？」を
新聞や図書などで調
べる。

調査・観察力が身
に付き、探究心が高
まっていった。



<新聞活用>

3 体験活動の実施体制

(1) 学校支援委員会の体制

校内では、体験活動の担当者として地域コーディネーターを配置した。そして、体験のめあて達成のため、地域公民館長、生きがい教室会長、PTA 会長、読み聞かせの会会長、地域活性化に尽力されている地域住民、さらに学校評議員の方にお願ひし、委員会を構成した。

(2) 支援委員会の主な活動

学校支援委員会や各教科等担当教員と連携を取りながら、地域や保護者、全教職員の共通理解の下、実施計画やその方法など年間を通した見通しのある綿密な計画を作成していった。定期では学期に1回、学校と支援委員会のメンバーによる協議会を開き、活動計画や活動報告をして、幅広く意見を聞いた。

さらに、出前講座や子ども教室を実施している県や町の関係部署・機関や外部団体、支援ボランティアとも連携を密にして、充実した活動になるように努めた。

そして、体験活動を実施する際には、全教職員の共通理解を図り、児童の安全確保などの危機管理にも留意した。

4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

協議会並びに、活動事後の臨時的協議会を開き、地域住民や保護者などの外部評価や活動途中での形成的評価も積極的に行い、より効果的な体制作りや活動の改善をしていった。

また、学校便りや学級通信、町や公民館広報紙などで、積極的に広報活動を行い、活動の周知と協力をねらった。

体験後には、体験で初めて知ったことや学んだこと、感動したことなど、学習プリントや振り返りカードを使って、まとめていった。また、俳句や日記、かべ新聞にまとめる活動を取り入れ、体験のみに終わらず、事後指導へも重点を置いた。

ここで、体験後の振り返りカードでは、形成的評価と総括的評価を行い、その項目には、身に付けさせたい力としてあげた、社会への興味・関心、情報活用・発信能力、表現力、コミュ

< 形成的評価項目 (例) >

- ① 体験は、楽しかったですか。
- ② 初めて知ることがありましたか。
- ③ かべ新聞やプリントに上手にまとめられましたか。
- ④ 友達との交流はありましたか。
- ⑤ 次に、生かしたいですか。

ニケーション能力、社会貢献の心、ふるさと観や郷土愛に関するものを取り上げた。また、他教科との横断的評価と通年活動において伸びたとされる点を加味した評価とした。

さらに、自分の成長に気付き、体験活動やNIE実践(2年次)に充実感を味わわせる配慮をした評価方法も工夫していった。

< 総括的評価項目 (例) >

- ① もっと町の文化や歴史を知りたい。
- ② みんなに町の文化や歴史を広めたい。
- ③ 本や新聞で有効な情報が得られた。
- ④ かべ新聞などへのまとめ方が上手になった。
- ⑤ 新聞などを使った広報活動のよさが分かった。
- ⑥ 国語や社会の学習にも生かした。
- ⑦ いろいろな人に出会った。
- ⑧ 体験はおもしろい。
- ⑨ 調べ、見つけることが上手になった。
- ⑩ 町の発展には、文化や歴史は必要だ。
- ⑪ よく作業をするようになった。
- ⑫ 町の良さがさらに分かった。
- ⑬ 県総合芸術文化祭は大成功だ!

< 成長した自分を書いてみよう >

5 活動の成果と課題

本年度本校で取り組んでいる、本事業と山口県主催「子ども夢プロジェクト」(第2回山口県総合芸術文化祭)の事業を関連付け、この教育・体験活動を仕組んでいった。

結果、地域の宝「ひと、もの、こと」と積極的に交流することにより、自然や文化の恵みを感じる心や地域や友だちへの感謝の心が育ち、よりよい人間関係を築いていこうとする温かい人間性が身に付いてきている。例えば、活動する過程で、友だちと協力し合い、励まし合っていく、団結力が育っていったこと、そこから、友だち同士で悩みを打ち明け、解決していこうとする態度が見られるようになったことなどである。

また、身近な地域での活動によって、自分なりのふるさと観を構築し、進んで田布施の良さを発見し、町の発展への意欲や実践力が高まり、地域創造の態度が育った。そこから自分たちの自然や文化を継承し、創造する活動へ発展し、地域に発信する力やコミュニケーション力などの社会性を身に付け、進んで将来の自分に生きてはたらく活用力を身に付けようとする意識ができたと思う。

ここで、保健室入室者の推移から児童の変容を見てみると、擦り傷や切り傷等の軽微なけがは増加したが、保険対象(大きなけが)の傷害は減少した。これは、活動時間(機会)や遊び場が増えたことに原因はあるが、柔軟性や運動能力の向上が見られた結果である。また、体の不調(頭痛や腹痛等)を訴える児童が半減したことは、休み時間や授業で友だちと運動場や学校林で遊び、発散した証拠であり、気力やたくましが醸成されたものと推察できる。

さらに、国語や社会科、図工、総合的な学習の時間、特別活動などとの横断的な活動によって、調査・観察、技能、思考や理解など基幹学力の向上が見られた。様々な体験で学んだことを俳句や日記に表したり新聞にまとめたりすることで、感受性や表現力が豊かになり、書く・聞く・話すといった言語活動の充実につながり、確かな学力が身に付いてきていると確信する。

特に、豊かな体験の実践活動をまとめた「かべ新聞」が、「全国かべ新聞コンクール」で入選し、評価をいただいたことが、その成果の表れだと確信する。豊かな体験で学んだ様々な力を発揮し、広く発信したいという実践力が身に付いたと実感した。

最後に、全国的な課題である、活用力や応用力の育成にもつながるような教育活動のあり方を探り、教科の学力向上を補完することができるような取組を開発・実践したい。そして、夢と希望に向かって将来に活用力や応用力が生きて働き、学習面でも体験で得た力が生かされる教育活動を開発していく。さらに、今後とも、「活動や体験」「地域との連携」「交流」「文化の創造」をキーワードに、児童のやる気を喚起できる魅力ある活動を継続的に展開していきたい。